『ＳＳＨ講演会』を開催しました

６月１７日（金）に、大学共同利用機関法人　高エネルギー加速器研究機構　素粒子原子核研究所　所長　齊藤　直人　氏　を講師としてお迎えして、全校生徒を対象としたＳＳＨ講演会を実施いたしました。このＳＳＨ講演会は、科学分野の興味・関心を高めるとともに、第一線で活躍し、優れた業績をあげておられる研究者を招聘し、研究の魅力と最先端科学についての知見を深めることを目的として、毎年、分野を変えながら実施しています。

今回は「宇宙と物質の起源～校則と物理法則はどちらが難しいのか～」という演題で、生徒にとって身近な校則と厳格な物理法則との違いを分かりやすくユーモラスに説明していただきました。また、地球の歴史を踏まえつつ、素粒子研究の歴史を紐解いて下さりました。ご自身は素粒子ミューオンについて長年研究され、現在ではピラミッドに新たな空間を見つけるなど、ミューオンが様々な分野で利用されているとの紹介もありました。

本校 OB ということもあり、講演に熱が入ってしまい、質疑応答の時間は残念ながら取れませんでしたが、メールでの感想や質問は歓迎しますとの言葉もありましたので、意欲的にメールを送る生徒も出てくるものと思います。

〇講演の様子